

令和5年 市長記者会見（当初予算（案）概要）

日 時：令和5年2月17日（金） 午後1時30分～午後2時30分

場 所：射水市役所会議室401

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、北日本放送、
富山テレビ放送、建設工業新聞

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、
財政課長、未来創造課長、財政課

○質疑応答の概要

Q1. 令和5年度の予算（案）は前年同様積極型か。

A1. 来年度の一般会計予算は383億6千万円と、前年度比較より1億1千万円増となった。また3月補正予算に前倒しをした事業費となる約5億7千万円を加えると、対前年比では4億円増となる。第3次射水市総合計画の初年度の重要な年でもあり、本市の更なる成長に予算配分をしたので積極予算といえる。

Q2. 市長の肝いり（いちおし）の施策は何か。

A2. 肝いり事業ということだが、「新たな未来投資特別枠」を設定し優先的に予算配分した事業が目玉事業、いわゆる肝いり事業と捉えていただければと思う。

DXの推進分野においては、スマート窓口推進事業、LINEを活用したオンライン市役所推進事業など市民の利便性の向上、またAIオンデマンドバス実証運行事業で、公共交通のさらなる利便性向上に繋げていくきっかけにしていきたい。

また、地域コミュニティ見守り体制支援事業は、IoT電球を活用しながら、自治会アプリ結ネットと連携し地域で見守っていく体制の構築で、安全安心な住まいの地域づくりにつなげていきたい。

次にGXの推進については、家庭用太陽光パネル設置補助事業や、プラスチック資源一括回収モデル事業などの取組をしながら、市民に脱炭素、再生可能エネルギーやリサイクルをはじめとした3Rへの関心を持って

いただきたい。

また、事業者向けにはカーボンニュートラル推進事業ということで、脱炭素セミナーの実施や、省エネ最適化診断を受診する費用を補助するなど、事業者の方々にも具体的な意識を高めていただきたい。

安心して子どもを産み育てられる環境の更なる充実については、県と連携して行うプレ妊活の健診事業のほか、産後間もない母子が孤立しないための産後サポート事業「いみずっ子 Baby の会」の設置、低所得妊婦に対する初回産科受診料支援事業など、安心して産み育てられるよう横の連携や相談できる機会を設け子育て環境の充実につなげていきたい。

活力ある地域づくりの推進については、いみず住まい等応援事業として市内での新築住宅や空き家の購入・改修など、該当する支援のポイント数に応じて費用の一部を支援する新しい制度の導入を図っていくものである。

介護人材資格取得支援事業については、介護職員の処遇改善、人材確保に繋がっていけばよいと考えている。

スタートアップの推進では、事業承継支援事業でマッチングを図る取組を進めていきたい。道の駅周辺エリアの整備事業などでは、地域の活性化につながる取組になればと思っている。

新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰施策では、高校生世代に5千円の商品券をお渡しするいみず高校生世代応援事業、幼稚園・保育園、小・中学校の給食食材費高騰分の差額を負担し、子育て世帯にさらなる負担を強いることなく安全で栄養価の高い給食を提供する取組なども、今回、特別枠の中に設けた。

Q 3. 観光・定住課と観光協会を一体化させ、いみず観光移住センター(仮称)ができるようだが移転場所はどこを想定しているのか。エリアは新湊地域か。

A 3. 開設については、市議会3月定例会において詳細に議会に対し説明し進めていきたいと考えているので、内容等の回答は控える。

現在、観光協会が観光交流センター(クロスベイ新湊)にあるということも考慮し、できれば周辺の新湊地区でと考えている。

Q 4. 全国青年市長会長でもあり、市長として子育てに関するメニューをトータ

ルでどう評価しているか。

- A 4. 令和5年度の子育て支援策の取組としては、令和4年度に引き続き、出産子育て応援給付金や出生祝いクーポン券交付事業などを継続するとともに、産後サポートとして「いみずっ子 Baby の会」の開催や、不妊治療において先進医療費も助成に含めていく取組についても説明させていただいた。

新しい総合計画をスタートさせていく中でも、子育て支援策については状況を見て、他の自治体の施策についても参考にしながら、更に力を入れて取り組んでいきたい。国において異次元の子育て支援として様々な検討がなされているところであり、子育て世帯の抱える課題や意見を踏まえ、市の施策について検討していきたい。